・期日……8月26日
・研修先（研修内容）……紫波町議会（通年議会について）、花巻市議会（議会基本条例について）

議員一丸で改革に積極取り組み

古川津好（委員長）、田中榮司夫（副委員長）、米田定男、関 善次郎、小笠原壽男、田村 孝、髙橋光幸（オブザーバー）

議会運営委員会

◎紫波町議会

紫波町議会では、4年前に議会活性化の取り組みとして『議会のあり方検討委員会』を発足し、その委員会での検討から、通年議会や議会報告会などが取り上げられて実施されてきた。

通年議会では、年初めの1月に町長が議長に通知。1年間会期中であるため、議長の通知だけで議会を開くことができる。また、常任委員会も案件を特定せずに開催することができ、これまで次回の定例会を待って議題としていた請願の意見書などをいち早く提出できることなどが、メリットであるとのことであった。

通年議会や議会報告会を踏まえた形で、現在は議会基本条例を検討しているとのことであった。

紫波町役場（8月26日）

◎花巻市議会

花巻市議会は、平成14年4月に県内で1番最初にインターネットによる議会中継を始めた議会であり、議会改革の先駆的な取り組みを行っている。

19年には、議長からの諮問を受け、議会基本条例検討委員会を立ち上げ、約3年の年月をかけて十分に検討、準備したうえで、22年6月に議会基本条例を制定、施行した。さらに、同年8月には「議会改革推進会議」を設置し、検討項目に優先順位をつけて課題に取り組んでいる。

また、議会報告会の実施についても、規程・要綱を検討し、今年2月から実施しているとのことであった。

議会の動き（6月17日から10月5日まで）

6月
▶17日～24日　平成23年第2回定例会
▶17日　会派代表者会議
▶17日　東日本大震災支援特別委員会
▶17日　議会議員全員協議会
▶17日　議会広報特別委員会
▶20日　東日本大震災支援特別委員会世話人会
▶22日　議会運営委員会
▶22日　総務常任委員会
▶22日　教育民生常任委員会
▶27日　市議会議員（産業建設常任委員）並びに市農業委員会（三役）と認定農業者との意見交換会
▶28日　雫石東八幡平線道路促進協議会総会並びに研修会
▶30日　議会運営委員会

7月
▶1日　議会広報特別委員会
▶4日～6日　自由クラブ・緑松会会派合同研修
▶5日～8日　八起会会派研修
▶7日　全国市議会議長会基地協議会第75回理事会
▶7日　民主党県連に対する実行運動
▶8日　平成23年度八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会総会
▶11日　平成23年度盛岡地区広域消防組合議会7月臨時会
▶12日　市議会議員と八幡平市建設協同組合理事との意見交換会
▶14日　県選出国会議員への実行運動
▶14日　第58回岩手郡町村議会議員大会
▶21日　教育民生常任委員会所管事務調査に係る研修会
▶22日　議会広報特別委員会
▶25日～28日　新生会会派研修
▶29日　第49回知事を囲む懇談会
▶29日　総務常任委員会所管事務調査に係る研修会

8月
▶5日　産業建設常任委員会所管事務調査に係る研修会
▶8日～9日　全国高速自動車道市議会協議会正副会長・監事・相談役会議
▶18日　東日本大震災支援特別委員会世話人会
▶22日～23日　教育民生常任委員会所管事務調査
▶23日～24日　産業建設常任委員会所管事務調査
▶26日　議会運営委員会（視察研修）
▶29日　議会運営委員会
▶29日　平成23年市議会第5回臨時会
▶29日　議会議員全員協議会
▶29日　東日本大震災支援特別委員会
▶30日　議会議員全員協議会現地調査
▶31日　八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成23年度第1回要望会

9月
▶8日　議会運営委員会
▶14日　議会運営委員会
▶14日～30日　平成23年第3回定例会
▶14日　議会広報特別委員会
▶20日　総務常任委員会
▶20日　教育民生常任委員会
▶20日　産業建設常任委員会
▶21日　議会議員全員協議会
▶21日　教育民生常任委員会
▶22日～28日　決算特別委員会
▶22日　産業建設常任委員会
▶22日　会派代表者会議
▶27日　議会運営委員会
▶29日　八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成23年度第2回要望会

10月
▶3日　雫石東八幡平線道路促進協議会研修会

新生会

田村 孝（代表）、松浦博幸、田中榮司夫、工藤 剛、工藤直道、大和田順一、渡辺義光、大森力男、立花安文

スポーツ合宿誘致で経済活性化

新生会では、7月25日から28日まで、①北海道帯広市の議会基本条例、②帯広市の環境モデル都市、③中札内村（なかさつないむら）および網走市のスポーツ合宿誘致、④網走市の観光振興、の取り組みについて、視察研修を行いました。

○帯広市の議会基本条例

帯広市議会では、任期中の4年間（平成19年～22年）で議会改革に取り組むことを当選直後に決め、議論・研修に4年間を要して議会基本条例を制定した。

○帯広市環境モデル都市

帯広市は大陸性気候で日照時間が長く、冬期間も晴れの日が多い国内では数少ない地域的な特徴を生かし、環境モデル都市（全国で13市町村）の指定を受け、市のあらゆる計画の基本に据えた。主な取り組みとしては、公共施設への太陽光発電設備導入、地中熱ヒートポンプ導入、廃てんぷら油を市内232カ所で回収後、BDF（生物由来の油から作られるディーゼルエンジン用燃料）を精製し、公用車の燃料に使用するなど、多様な事業を実施していた。

北海道中札内村サッカー場（7月26日）

○中札内村・網走市のスポーツ合宿誘致

中札内村は、帯広市などと連携してサッカー日本クラブユース大会（8月）を誘致し、網走市は夏のラグビー合宿地で、多くのトップリーグに所属するチームが集まり、8月・9月は毎日のように有名チームの合宿オープン戦が組まれていた。昭和63年から合宿誘致を始め、30年の歴史を持つ。両自治体ともスポーツ合宿の経済的効果に着目し、スポーツ合宿で経済活性化に取り組んでいた。

○網走市の観光振興

網走市は網走監獄が有名なために通過型観光の代表的な都市であり、何とか宿泊滞在型を増やしたいと流氷観光にも力を入れ、通年で観光客を呼び寄せる取り組みや東南アジアなどの外国人観光客の誘致にも取り組んでいた。

また、市政や暮らしに関係する国、県の施策について意見や要望がある場合、請願や陳情を市議会に提出することができます。書式などは市議会ホームページに掲載していますが、提出方法などの詳細については、議会事務局（☎76-2111、内線1322）まで問い合わせ願います。

※ 市トップページ左側に市議会のバナー（横長の細い見出し画像）がありますので、そこをクリックしてください。

12月定例会の日程について（予定）

平成23年**第4回定例会（12月定例会）**は、**12月8日から16日まで**、市議会議場（市役所本庁舎）で開催される予定です（土、日曜日は議案思考のため、休会となります）。詳しい日程が決まり次第、※**市議会ホームページ**に掲載（定例会初日のおよそ5日前）しますので、ご覧ください。傍聴を希望される方は、議会開会日当日、市役所3階・議会事務局までおいでください。

クイズ

問　○の中には、どんな数字（文字）が入るでしょう？

①市の平成22年度一般会計歳入の中で、自主財源の占める割合（自主財源比率）は、○○.○パーセント
②教育民生常任委員会の委員が視察で訪問した山形県庄内町での研修内容（テーマ）は、「新○○○○○対策について」

応募方法

はがきかFAXまたはEメールに、答え、住所、氏名、年齢、議会だよりを読んだご感想、市議会へのご意見・ご要望などを記入の上、議会事務局までお寄せください。正解者の中から抽選で5人の方に1,000円分の「八幡平市共通商品券」をお贈りします。※お寄せいただいた個人情報は、このクイズに関わるもののみに使用します。

あて先

〒028-7192（住所不要）八幡平市議会事務局　議会だより係
ＦＡＸ　：0195－76－2980
Eメール：gikai@city.hachimantai.lg.jp

締切日

平成23年12月6日（当日消印有効）←前回よりも期間が短いので注意！

前回（第24号）の正解　①164,260人　②函館市

応募者数　10人（全員正解）
当選者（敬称略）渡辺富夫（大更）、小野寺小枝子（荒木田）、佐藤萌々（打田内）、日向裕一（大更）、大森リツ（叺田）